



2022年4月1日

各 位

会社名 株式会社 篠崎屋
代表者名 代表取締役 樽見 茂
(コード番号 2926 東証第二部)
問合せ先 取締役管理グループ長兼経営企画部長
兼 I R 室長 矢立 実
電話番号 048-970-4949

2022年9月期第2四半期累計期間業績予想及び配当予想の開示に関するお知らせ

当社は、2022年9月期第2四半期累計期間（2021年10月1日～2022年3月31日）の業績予想及び配当予想が公表できる段階となりましたのでお知らせいたします。

なお、通期の業績予想及び配当予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での開示は行っておりません。ただし、既存店舗等の情報を月次で開示するとともに、通期の見通しが分かり次第開示してまいります。

記

1. 2022年9月期第2四半期累計期間の業績予想（2021年10月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2021年9月期第2四半期累計期間実績 (A)	1,538	51	51	34	2.41
発表予想 (B)	1,534	9	9	△6	△0.49
増減額 (B-A)	△3	△41	△41	△40	
増減率 (%)	△0.2	△81.3	△81.3	—	

2. 2022年9月期第2四半期累計期間の業績予想の開示理由

当第2四半期累計期間において、商品につきましては、「健康」をキーワードに「茂蔵オリジナル商品」を強化してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等による景気の先行きは不透明な状況となっていることから、お買い得感のある「生活応援企画商品」を強化することで顧客数の確保と売上高の拡大に取り組んでまいりました。

店舗におきましては開店時間から12時までの時間帯に「朝市」を開催し、「懐石弁当」などの高付加価値・高価格帯商品を時間限定でお試し価格にて提供することで、購買意欲の高い顧客層の来店頻度の向上を図りました。

この結果、顧客数は前年並みとなりましたが顧客単価は下降しており、売上高は前年同四半期比0.3%減となる見込みです。利益面につきましては、売上高の減少、「生活応援企画商品」の強化や「朝市」の開催等による売上総利益率の低下及び人件費の上昇等により、営業利益は同81.3%減の9百万円、特別損失として減損損失3百万円及び店舗閉店損失4百万円を計上した結果、四半期純損失は6百万円（前年同四半期は四半期純利益34百万円）となる見込みであります。

3. 2022年9月期第2四半期累計期間の配当予想（2021年10月1日～2022年3月31日）

	第2四半期末	期末	合計
発表予想	0.00円	—	—
（ご参考） （2021年9月期実績）	0.00円	0.00円	0.00円

4. 配当予想の開示理由

当社の利益配分に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題とし、業績及びその時点での経営状況に応じた成果の配分を配当として実施することを目指すとともに、将来の事業展開に備えて財務体質の強化を図ることに努めることとしておりますが、直近の業績に鑑み、第2四半期末につきましては無配とさせていただきます。

以上